

第 18 回ピンクリボンレディーステニス全国決勝大会

「2年ぶりの開催に感謝」

(窪田真寿美)

今年のピンクリボンレディース全国決勝大会は、新型コロナの影響で2年ぶりに無観客で開催されました。今年も多く大会が中止となる中、私たちは全国決勝大会に行かせていただくことができ、関係者の皆さんには大変感謝しています。

今年一般の部は、県大会で優勝されたペアが辞退され、2位だった私たちが繰り上げで出場させていただきました。出るからには頑張りたい。今年は、日本スポーツマスターズの全国大会に出場予定でしたが、新型コロナのため大会が中止となったこともあり、今回のピンクリボン全国決勝大会の出場は大変嬉しいものでした。4人で大会前にも練習し、モチベーションを上げて臨みましたが、結果は初戦の兵庫県に0-2で負けてしまいました。その後、他県の選手と交流戦を2試合させていただきとてもいい思い出となりました。今回得られた経験をまた次のテニスにつなげていきたいと思います。

京田さん、磯崎さん、正木さんみんなありがとう。(念願の焼肉おいしかったね♪)

ソニー生命カップ第43回全国レディース全国決勝大会

(村中雅子・宮腰いずみ)

悔し涙の初出場から2年、2人でプレースタイルを模索し掴んだ全国切符。平常心を心掛けたものの、40-40勝負をことごとく落とし、3-6 3-6で今回も初勝利はなりませんでした。「いかに要所でミスをなくすか」これを課題にまた頑張りたいです。応援してくれた皆様、監督、メンバーの皆様ありがとうございました。

(荒谷美雪・石崎美知恵)

まずは相棒・石崎さんに感謝！12年ぶりでも緊張感と高揚感は同じ。猛者達との試合では結果以上の喜びと後悔をもらう。直後に見つける新しい課題が私の宝だ。荒谷

実力が出し切れなかった後悔と悔しさをありがとう！もう一度立ちたい！昭和の森テニスコート。石崎

(吉田賀世子)

金岡さんと2人、全国レディース3回目の挑戦。予選から悔しい思いのNo.3出場。全国でも悔しい初戦敗退でした。ただ、メンバーの励まし、ハツ橋監督のアドバイスのおかげで、テニス熱は全く冷めず。このまま終わりません！3年後、またこの舞台に戻ることを誓います。いつも練習してくれる仲間に感謝！

ヨネックスレディースチャレンジカップ 2021 全国決勝大会

「ヨネックスチャレンジカップ！！」

(杉原庸子)

富山県代表に決まったのは6月の終わりでした。そこから約6ヶ月間。コロナでテニスコートが使えなかったり全国大会が開催されるかどうか不安の中、必ず開催されると信じ2人で練習を重ねてきました。

そして向かえたこの舞台！！2位トーナメントの準決勝！！スコアは3-0！！決勝まであと1ゲーム！！もう少して決勝へ！！そう思ったその瞬間！！1ゲームを取られ流れは相手ペアへ行き3-4で負けてしまいました。

もう少し、本当にもう少しでした。テニスの神様は前髪が長くて後髪が無いと聞きます。前を向いているその瞬間に髪をつかまなければならない！！勝負に強い選手になりたいと思いました。チャンスにも逆境にも強い人になりたいと強く思いました。

また、全国レベルの戦いを見て自分に足りない物がたくさんあると感じました。これから練習をしてプラスしていきたいと思います。

最後にコロナ中で富山県予選を開催して下さった女子連の役員の皆様、全国大会を開催して下さったヨネックス様、そしてこの大会と一緒にペアを組んで出場してくれた山崎さんに感謝します。本当にありがとうございました。

この年齢になっても夢中になれるテニスに出会えたことを幸せに思います。